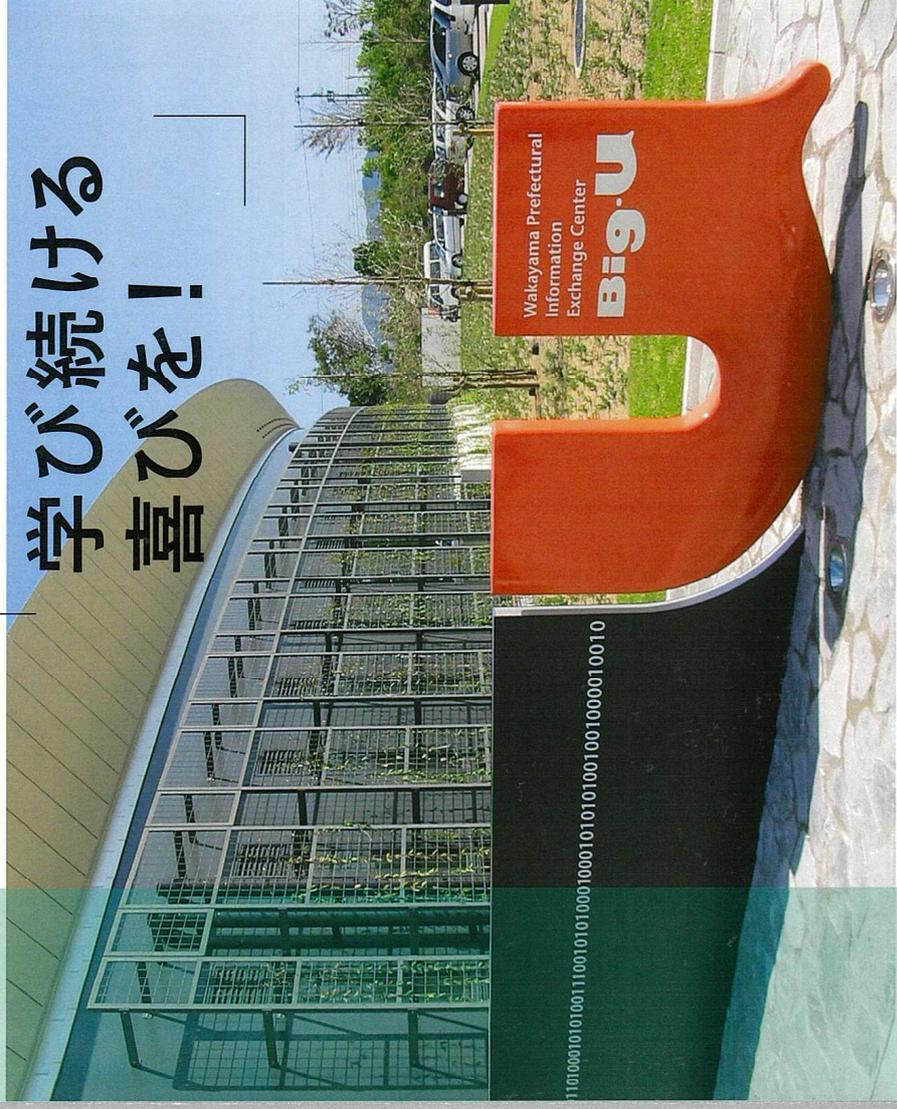




2023年度(令和5年度)後期 和歌山大学 南紀熊野サテライト

社会人受講生募集中

学び続ける 喜びを!



Wakayama Prefectural
Information
Exchange Center
Big·U

11010000101010011100101010001000101010010010000010010

【受講料】

- 学部開放授業
受講料 ¥11,000 (1科目)
※登録料制度の有効期間内の方は¥10,000(1科目)
- 大学院科目
検定料 ¥5,000、入学科 ¥10,000、
授業料 ¥14,400 (1科目)
※お申し込みは必ずそれぞれの出願・申請期間内をお願いいたします。
※事務職員にまいりますから検定料をさせていただきます。
※なんらかの状況または情報保障が必要な方は、8月10日(木)までにご連絡ください。

【募集締切】

- 大学院 出願期間
令和5年
8月21日(日)～8月25日(木)【必着】
- 学部開放 申請期間
令和5年
8月17日(木)～9月12日(火)【必着】

受講するには

- 申込み詳細は募集要項をご覧ください。
- 募集要項は和歌山県立情報交流センターBig・Uに配架。HPからダウンロードもできます。
- 記載内容は都合により変更の場合もあります。詳しくは南紀熊野サテライトまでお問合せください。
- 高校生(1～3年生)は「大学授業の公開制度」を利用できます。

お問い合わせ先

和歌山大学南紀熊野サテライト

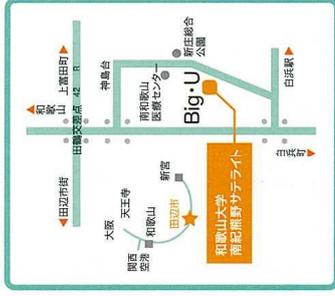
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9
和歌山県立情報交流センター Big・U 102号室

TEL 0739-23-3977 FAX 0739-23-3978

http://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/

nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

■開室時間
10:00～17:00
(日曜・月曜・祭日休み)



- ▶自動車でお越しの方 大野方面から約2時間30分
松原ICから阪和自動車道を和歌山方面へ。
南紀熊野ICを降りて国道42号線を白旗方面へ。
- ▶JRでお越しの方 新大阪より約2時間30分
新大阪駅・天王寺駅からJR特急(くろしお)にてJR白旗駅下車。タクシーにて約5分。

和歌山大学南紀熊野サテライトとは？

『和歌山大学南紀熊野サテライト』は和歌山大学が和歌山県や紀南地域の11市町村等が連携して、田辺市の和歌山県立情報交流センターBig・U(ビッグユニ)内に2005年に開設しました。南紀熊野地域の活性化・文化向上を目的とし、機能を活用して、地域のニーズにあった様々な高等教育及び生涯学習・地域連携事業、大学の地域での教育・研究活動の推進や地域での報告会、研究会の開催など地域の知の拠点として活動しています。

和歌山大学南紀熊野サテライト連携協議会とは？

南紀熊野地域の活性化・文化向上のため、和歌山大学南紀熊野サテライトが地域のニーズに応え充実した高等教育サービスを提供できるよう、運営支援する、和歌山県と地元自治体11市町村や関係団体による協議会です。

オープン
キャンパス
セミナー



南紀熊野サテライトでは、後期開講予定授業を担当される先生から、実際に授業を受けることができるオープンキャンパスセミナーを開催しています。受講するかどうか迷っている方やどなたも授業を行うのが気になる方は是非お越しください。開催日については改めて、HP等でお知らせします。

2023年度(令和5年度)後期開講科目のご紹介

学部開放科目のご紹介

「地域観光戦略論A」

講師 藤田 和史 准教授(経済学部) 他

この授業では、個人の観光行動が広く発信され、それが多数に共有され、新たな観光を誘発する新たな観光の側面を学びつつ、その知見をどのように生かすのかという点に重きを置いて、観光戦略の計画・立案・発信まで含めた授業を展開する。

開催日時
10月7日、10月21日、11月4日、
12月16日、12月23日、1月6日
いずれも 13:00 ~ 17:00

「「きのくに」文学」名作案内」

講師 天野 雅郎 (非常勤講師)

文学の原義を振り返り、現在の和歌山の前身である「きのくに」を舞台とする作品群や、作家たちを取り上げ、この和歌山が大きな、豊かな文学圏を歴史上築き上げ、保ち続けているのかを学ぶ。

開催日時
10月14日、10月28日、11月11日、
12月2日、12月9日、1月20日
いずれも 13:00 ~ 17:00

「郷土の食文化から考える食の危機」

講師 岸上 光克 教授(食農総合研究教育センター)

本講義では、日本の食文化、とくに郷土の食をめぐる危機について和歌山県から明らかにし、豊かで多様な食文化が地域を、私たちの暮らしをつくっていることとの幸福や重要性、これからの食の姿を考える。

開催日時
10月7日、10月14日、10月21日、
11月4日、1月27日、2月10日
いずれも 13:00 ~ 17:00

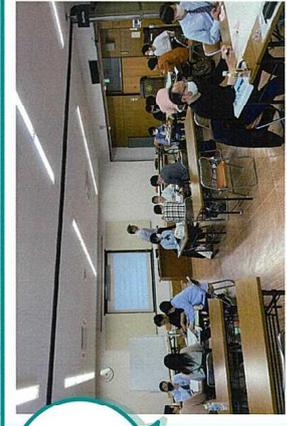
「地域づくりの理論と実践D」

講師 大浦 由美 教授(観光学部) 他

本講座は、農業・農村の現状に対する「当事者意識」に裏付けられた深い共感と問題関心を有し、且つ新たな地域づくりの担い手として注目される「関係人口」を創出する上でのコーディネートとしての役割を果たしうるホスピタリティ豊かな地域づくり人材の育成を目的として開講する。

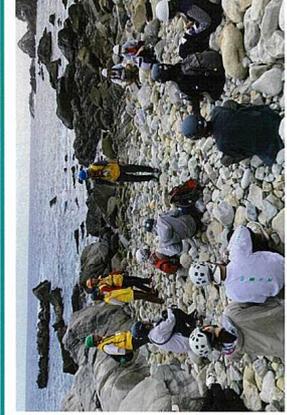
開催日時
10月7日、10月8日、11月11日、
11月12日、1月27日、1月28日
通年開講授業のため、後期募集はありません。

▲前期 学部開放授業 地域経営資源論



前期 学部開放授業の様子

▲前期 学部開放授業 南紀熊野の自然



大学院開講科目のご紹介

「協同組合論」

講師 岸上 光克 教授(食農総合研究教育センター)

地域間格差や生活格差が拡大している状況のもと、利益追求型の企業経営ではなく、協同組合という形態が注目されつつある。本講義では、「協同組合とは」、「協同組合の課題」などを具体的事例から学び、農協に注目し、協同組合について、考える力を身に付ける。

開催日時
12月16日、12月23日、1月20日
いずれも 13:00 ~ 17:00

「農工商連携・六次産業化」

講師 藤田 和史 准教授(経済学部)

この授業では、農業生産者や他産業とが結び着くことで高付加価値化を目指す六次産業化などの事例を分析することを通じ、地域農林水産業の存続のありようについて検討する。また、古典論を解読し、地域に適した農林水産業や関連産業のあり方についても検討する。

開催日時
10月14日、10月28日、11月25日
いずれも 13:00 ~ 17:00

サテライト / 代表メッセージ

小川 雅則 特任教授
紀伊半島価値共創基幹



和歌山大学南紀熊野サテライトは、南紀エリアの地域や社会の課題に向き合う学部開放科目と、より専門性の高い大学院授業科目を開講しています。学生を含めて様々な世代の方と交流し、語り、知識を深めてみませんか？皆様の受講をお待ちしております。

受講生の声

職場とは異なる出会いがあり、いろんな人と交流できました。(50代男性)



紀伊半島の自然や歴史・文化を知りたくて。(60代女性)



生徒の皆さんも楽しい方が多くて楽しかった。(30代女性)